

記入後はコピーをして家族みんなが持つようにしましょう。



事前に記入しておきましょう。

家族の情報 電話番号がわかる相手にはSMS(ショートメッセージサービス)などが送れます。

名前	電話番号(自宅・携帯)	電話番号(会社・学校)	その他(アレルギー・持病・持薬など)
	■生年月日: 年 月 日 ■血液型: 型		
	■生年月日: 年 月 日 ■血液型: 型		
	■生年月日: 年 月 日 ■血液型: 型		
	■生年月日: 年 月 日 ■血液型: 型		
	■生年月日: 年 月 日 ■血液型: 型		

家族の避難場所 集合場所はできるだけ細かく (例)○○公園噴水前のベンチ

家族の集合場所	避難所	連絡方法

親戚・友人・知人

名前	携帯電話

かかりつけ病院

病院	電話番号

緊急ダイヤル

火事・救急・救助の通報	局番なし(無料) 119	警察への事件・事故の通報	局番なし(無料) 110
海上の事件・事故の通報	局番なし(無料) 118		

役所・公共機関

施設名	電話番号
役所	
電気	
ガス	
水道	

メモ欄

万一の時のために普段からよく読んで災害に備えましょう。

保存版

名取市 防災マニュアル

自分の命は自分で守る。

掲載内容

- 1 名取市のこれまでの主な自然災害
- 2 災害に備える
- 3 新たな防災気象情報の運用について
- 4 大雨・洪水・土砂災害情報が発表されたら
- 5 マイ・タイムラインシート
- 6 地震が起きたら
- 7 災害時の避難所生活とペット同行避難
- 8 「指定避難所」の開設・運営への協力について
- 9-1 情報の収集
- 9-2 自治体が発信している防災・災害情報
- 10 在宅避難、車中泊避難、熱中症への対応
- 11 安否確認
- 12 連絡先と家族の情報



1 名取市のこれまでの主な自然災害

名取市はこれまでに様々な自然災害に襲われました。

チリ地震津波 (昭和35年5月24日早朝発生)

5月21日、南米チリで発生したマグニチュード9.5の地震により発生した津波が、数日後に日本に到達し、大きな被害をもたらした。名取市には5月24日早朝に津波が押し寄せ、関上漁港から出港途中の漁船が転覆し、死者が出るなどの被害があった。

名取市の被害 死者2名、行方不明者3名のほか、漁港施設への被害など。



宮城県沖地震 (昭和53年6月12日発生)

6月12日17時14分に発生したマグニチュード7.4の地震で、仙台で震度5を観測。都市型災害の典型と言われ、停電・断水などのインフラ被害のほか、ブロック塀倒壊による死者が出た。

名取市の被害 幸い死者はなかったものの200名以上のけが人の報告があり、また家屋やブロック塀の倒壊、水道管の破壊による断水などの被害があった。

8.5豪雨 (昭和61年8月4日～5日発生)

台風10号から変わった熱帯性低気圧の北上に伴う豪雨で累計雨量は397mmを観測した。この大雨により、各河川の水位は警戒水位をはるかに突破した。

名取市の被害 軽傷2名、全壊1棟、一部損壊10棟、床上浸水310棟、床下浸水1,410棟



9.22集中豪雨 (平成6年9月22日～23日発生)

発生確率が約200年に一度と言われる集中豪雨で、樽水ダムで時間雨量84mm、累計雨量478mmを観測した。この豪雨で樽水ダムは洪水調整機能を喪失し(満杯となりあふれ)増田川が氾濫したほか、川内沢川、志賀沢川、五間堀川が氾濫し、局地激甚災害に指定された。

名取市の被害 軽傷1名、全壊2棟、半壊2棟、一部損壊8棟、床上浸水946棟、床下浸水1,737棟、河川の損壊15か所、道路の損壊129か所、がけ崩れ35か所



東日本大震災 (平成23年3月11日発生)

3月11日14時46分、三陸沖を震源とするM 9.0の東北地方太平洋沖地震により、名取市では震度6強を観測。揺れは約3分間続いた。15時52分には9mを超える津波が押し寄せ、海岸から最大約5kmまで浸水し、沿岸部は壊滅的な被害を受けるなど、市内全域に大きな被害をもたらした。

名取市の被害 死者923名、建物被害(住家・非住家計)16,796件(うち全壊3,765件) 最大避難者数11,233名(平成26年3月31日現在)



令和元年東日本台風(台風第19号)(令和元年10月12日～13日)

10月12日から13日にかけて、大型で強い勢力で上陸・通過した台風19号により、関東から東北の広範囲で記録的な大雨となり、名取市内でも累計約350mmの雨量を観測。名取市にも一時大雨特別警報が発表され、増田川が氾濫危険水位に達したほか、各地で冠水被害があった。

名取市の被害 住宅被害 一部損壊24棟、床上浸水44棟、床下浸水144棟

2 災害に備える

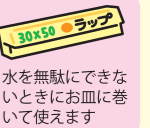
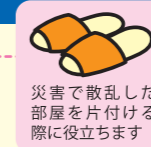
備蓄品 救援物資が届くまで、または災害が落ち着くまで、生活するためのものです。

必ず用意しておくもの

- 飲料水(1人1日3ℓ×7日分×家族数)
- 紙皿・紙コップ・割りばし
- 保存可能な食料(7日～10日分程度)
- タオル・毛布
- カセットコンロ(予備ボンベ)
- ランタン・懐中電灯(予備電池)

必要になるもの

- スリッパ
- 簡易トイレまたはポリ袋
- ほうき・ちり取り
- スコップ・バール・ジャッキ・おの・のこぎり
- ウォータータンク・荷物運搬カート
- 軍手
- ブルーシート
- 使い捨てカイロ
- ラップ・アルミホイル
- ハンディろか機(水の清浄)
- トイレットペーパー・ティッシュ
- 高密度ポリエチレン
- レジ袋
- 45リットルゴミ袋



家族構成によって必要になるもの

- 母子健康手帳
- 生理用品
- 粉ミルク・ほ乳びん・離乳食
- 障がい者手帳・介護用品
- おむつ・おしりふき

ペットがいる場合

- ペットフード
- その他ペット用品



避難の際携行するもの

- 避難が必要なとき
- 火事の危険が迫ってきた
- 家が倒壊しそう
- 避難指示が出た



身につけるもの

- ヘルメットなど
- 厚底の靴
- 軍手
- マスク
- 携帯電話・スマートフォン



リュックに入れて持ち出すもの

- 飲料水(500ml程度 家族各人1本ずつ)
- 携帯ラジオ
- 筆記用具・メモ帳・笛
- トイレットペーパー・ティッシュ・ウェットティッシュ
- 衛生用品・生理用品
- おむつ・離乳食・乳児用ミルク
- 保険証・メモカード
- 携行食(ビスケット、チョコレート、バランス栄養食品など)
- 懐中電灯・予備電池
- ビニール袋・ポリ袋
- 防寒具・雨具・携帯カイロ
- 応急医療品
- 携帯電話・充電器・バッテリー
- タオル・下着・靴下
- 現金(小銭)・通帳・印かん
- 多目的ナイフ
- 入れ歯・コンタクトレンズ・眼鏡
- 常備薬・お薬手帳



自分にしかあわないものは常時携帯しましょう



3 新たな防災気象情報の運用について

令和8年の大雨時期から防災気象情報が生まれ変わります。

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意情報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

住民がとるべき行動
命の危険 直ちに安全確保!
危険な場所から全員避難
避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
災害への心構えを高める



変更のポイント

1. 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます。
2. 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります。(特別警報の新設など)
3. 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます。

新しい早期注意情報

- ① 警戒レベル1の早期注意情報は、大雨や高潮等の警報級の現象が5日先まで予想されされている場合に、その可能性を「中」「高」の2段階で発表する情報です。
- ② 令和8年出水期からは、これまで大雨に含めていた土砂災害の警報級の可能性を切り分けて発表します。
- ③ さらに、明後日(3日後)までを対象とした情報の時間幅を次の通りに変更。
 - ・明日(1日後)までは、12時間または18時間の時間幅で発表していたものを**6時間の幅**で発表。
 - ・明後日(2日後)については、1日の時間幅であったものを**午前・午後に分けて発表**。

警報級の可能性	時間幅	1日		2日		3日		4日	5日	6日
		18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12			
大雨	午前	—	[中]	[高]	[中]	—	—	—	—	—
土砂災害	午後	—	[中]	[高]	[高]	[中]	[中]	—	—	—

早期注意情報をうまく活用して災害への心構えを!

浸水想定とは異なる結果

ハザードマップに示されている浸水想定は、過去の最大級の降雨などを想定した結果です。しかし、実際の災害は、雨の降り方、川の水位、風の向きや強さ、さらには下水道の状況といった、様々な条件が複雑に絡み合って発生します。

そのため、もし想定を上回る豪雨になったり、想定していなかった場所で堤防が決壊したりすれば、マップに示された浸水区域や深さとは異なる結果になります。ハザードマップはあくまで災害リスクを理解するための『目安』であり、マップに載っていない場所でも浸水が発生する可能性があることを念頭に置き、日頃からの備えが大事です。



4 大雨・洪水・土砂災害情報が発表されたら

雨風が強まってきたらどうするか?

大雨情報をキャッチしたら、わが家でこんな安全対策を

- ① ラジオやテレビなどで、気象情報にはくれぐれも注意する。
- ② 自治体の広報をよく聞いておく。
- ③ 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- ④ 非常持出品を準備しておく。
- ⑤ 外出からは早く帰宅し、勤務先の家族と連絡を取り、非常時に備える。
- ⑥ 浸水に備えて、家財道具は、安全な場所へ。
- ⑦ 飲料水や食料を確保しておく。
- ⑧ 危険な土地では、いつでも避難できるよう準備する。

早めの避難に
勝る防災なし!



危険を感じたらすぐ避難しよう

急激な降雨のように、突発的な異常気象の場合には、自治体からの避難情報が間に合わないケースもあります。

身の危険を感じたら、自治体からの避難情報を待つことなく、安全な場所や避難所などへ自主的に避難しましょう。



命を守る最善の行動とは

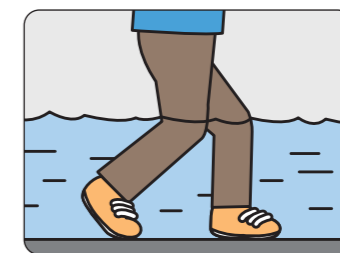
危険な状況の中での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。

屋外に出て指定された避難所などへ移動(水平避難)することが危険と感じる場合や、その余裕がない場合は、自宅や隣接建物の2階以上へ避難(垂直避難)することが安全な場合もあります。



避難するときのポイント

▶ 洪水のときはこうして避難 ◀ — やむをえず洪水の中を歩くときの注意 —



歩ける水深は、30cm～50cm程度。水深が腰まであるようなら無理は禁物。高所で救助を待ちましょう。



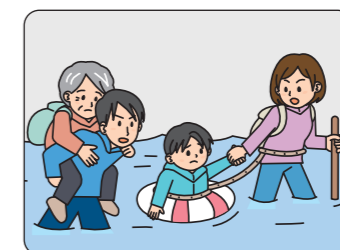
水面下にはどんな危険が潜んでいるかわからないので、長い棒をつえのかわりにして安全を確認しながら歩きます。



裸足、長靴は禁物。ひもでしめられる運動靴が良いでしょう。



はぐれないようにお互いの身体をロープで結んで避難しましょう。特に子どもから目を離さないように!



お年寄りや身体の不自由な人などは背負い、幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保して避難します。

マイ・タイムラインシート 自分や家族がどう行動するのか記入してみましょう。

マイ・タイムラインとは、台風や大雨などの風水害の発生に備えて、一人ひとりの家族構成や生活環境などに合わせて、あらかじめ作成する自分自身の避難行動計画のことです。自分や家族の行動について、「いつ」「だれが」「何をするのか」を時系列で整理することによって、いざという時にあわてず、安全に避難できるよう、「自分の逃げ方」を見つけましょう。



事前に記入しておきましょう。

時間の目安

3日前

2日前

1日前

18時間前

15時間前

12時間前

6時間前

3時間前

0

気象情報

台風の進路予報

早期注意情報発表

水防団待機水位到達

名取川:水位5.5m(名取橋観測所)^{※1}
増田川:水位1.7m(上増田観測所)^{※2}
阿武隈川:水位4.0m(岩沼観測所)^{※3}
川内沢川:水位1.5m(館腰橋観測所)^{※4}

レベル2

大雨・氾濫・土砂災害・高潮注意報発表

氾濫注意水位到達

名取川:水位6.5m(名取橋観測所)
増田川:水位2.0m(上増田観測所)
阿武隈川:水位5.0m(岩沼観測所)
川内沢川:水位1.6m(館腰橋観測所)

レベル3

大雨・氾濫・土砂災害・高潮警報発表

避難判断水位到達

名取川:水位8.3m(名取橋観測所)
増田川:水位2.5m(上増田観測所)
阿武隈川:水位7.9m(岩沼観測所)
川内沢川:水位1.9m(館腰橋観測所)

レベル4

大雨・氾濫・土砂災害・高潮危険警報発表

氾濫危険水位到達

名取川:水位9.2m(名取橋観測所)
増田川:水位2.7m(上増田観測所)
阿武隈川:水位8.2m(岩沼観測所)
川内沢川:水位2.1m(館腰橋観測所)

レベル5

大雨・氾濫・土砂災害・高潮特別警報発表

氾濫開始相当水位

名取川:水位11.5m(名取橋観測所)

名取市の行動

警戒体制の整備

- 消防署、消防団など関係機関との連絡・調整
- 情報収集、パトロール、施設点検
- 水防資機材、土のうの準備
- 休校などの判断、体制の確認
- 水防団待機

警戒レベル2相当

避難に備え自らの避難行動を確認

- 水防団出動

警戒本部又は警戒配備の体制

- 自主避難所の開設、周知

災害対策本部又は特別警戒本部の体制

警戒レベル3相当
高齢者等避難

- 避難所開設・運営
- 情報伝達
⇒防災行政無線、広報車、ホームページ、なとり防災メール、防災ラジオ、エフエムなとり(なとらじfm80.1MHz)、フェイスブック、テレビ(dボタン) など
- 避難所の追加開設(必要に応じ)

警戒レベル4相当
避難指示

- 情報伝達 上記に同じ

警戒レベル5
緊急安全確保

- 情報伝達 (命を守る最善の行動をとること)

住民の皆さんの行動

- テレビ、ラジオ、インターネット等による気象情報の確認
- 家族間の連絡 ○非常用持出し品の準備
- 自宅周辺の安全確認
 - ・側溝の清掃
 - ・飛びやすいものの片づけ
 - ・窓の飛散防止(テープで固定など)

避難ルートの検討

- ハザードマップで避難所、避難ルートの確認。(避難先は、必ず避難所とは限りません。自宅2階以上への垂直避難や、より安全な知人宅もあります。)

自主避難開始

※自主避難所を開設する場合は、開設場所、開設時間を、事前に市から周知します。

- 避難所開設情報の確認

高齢者や障がい者、小さなお子様のいる家庭など、避難に時間がかかる方は避難開始

- 高齢者等以外の方は避難の準備
- 避難所開設情報の確認
※全ての避難所を開設するということではなく、左記の情報伝達手段により確認してください。

危険な場所から全員避難

避難完了

すでに災害が発生しています。命を守る最善の行動をとってください。周辺の状況によっては屋外にすることは危険な場合があります。

マイ・タイムライン

時間の目安

3日前

2日前

1日前

18時間前

15時間前

12時間前

6時間前

3時間前

0

氾濫発生

『警戒レベル4』までに必ず避難！

氾濫発生

※1:名取橋観測所:仙台市太白区大野田大橋本 ※2:上増田観測所:飯野坂一丁目
※3:岩沼観測所:岩沼市阿武隈 ※4:館腰橋観測所:植松地内館腰橋

地震が起こったらどうするか？



揺れを感じたときの10分間行動の例

地震発生時は、自分の置かれている状況がつかめず、混乱しがちです。まずは自分と家族の身を最優先に守りましょう。これはあくまで行動の一例です。そのときの状況によって判断しましょう。

地震発生

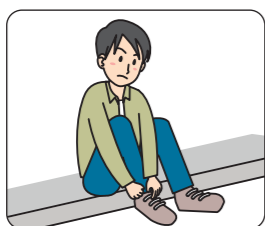
1分



身を守る

机の下など、物が落ちてこない、倒れてこない場所に身を隠し、座布団やクッションなどで頭を覆い安全を確保しましょう。

2分



靴を履く

大きな地震が起きた際には窓ガラスや食器が割れてケガをする恐れがあります。特に停電時は大変危険なので屋内でも靴を履いておきましょう。

5分



出口を確保

地震で建物がゆがみ、ドアなどが開かなくなることもあります。いつでも避難ができるよう、窓や玄関の戸を開けて逃げ場をつくりましょう。

7分



火元・ブレーカーの確認

震度5相当以上の地震が起こると「マイコンメーター」が自動的にガスを止めてくれるようになっています。また、通電再開時に火事が起こることもあります。電気のブレーカーは必ずOFFにしましょう。

揺れの大きさに状況判断！

10分



避難

避難経路に沿って、速やかに避難しましょう。

自宅待機・情報収集

地震発生後は、火が広がる恐れがあります。自宅が安全と判断した場合も、いつでも避難できるように準備しておきましょう。また、地震発生時は、情報が混乱している場合があります。にせ情報（フェイクニュース）やうわさなどに惑わされず、正しい判断ができるよう、ラジオなどで正確な情報を収集しましょう。

※参考:広島FM「私だけの防災ハンドブック」

避難生活の注意点とペットとの避難の要点

避難所生活

自分自身で健康や衛生の管理に気を付けましょう

- ・エコノミークラス症候群を予防するために、適度な運動と水分補給をしましょう。
- ・熱中症予防のため、水分補給や衣服の工夫（通気性のよいもの等）をしましょう。
- ・食中毒の予防のため、手洗い、消毒、賞味・消費期限を確認しましょう。

避難所では引き続き感染症対策が必要

- ・マスクの着用
- ・手指の消毒
- ・咳エチケット
- ・定期的な換気
- ・間隔の確保

ペット同行避難

災害時における飼育管理

- ・名取市では、ペットの同行避難については、環境省の「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」などに基き可能な範囲で対応します。
- ・災害が起こった時、飼い主はペット同行避難をすることが基本とされ、平常時からペットの安全と健康を守るとともに、他の避難者への迷惑にならないように努めます。
- ・動物が苦手な人、アレルギーなどの人々とトラブルにならないよう、また、避難生活はペットにも大きなストレスになるため、普段からしつけや健康管理をすることが求められます。



災害時におけるペットの救護対策ガイドライン

飼い主が備えておくべきこと

ペットのしつけと健康管理

待て、おいで、むやみに吠えない、決まった場所で排せつする等のしつけ、ケージやキャリーバッグに慣らす、予防接種や寄生虫のく除、不にん・去せい手術を行う、など

ペットが迷子にならないための対策

マイクロチップの装着、AIPO[※]に登録する、など

ペット用の避難用品や備蓄品の確保

首輪とリード、キャリーバッグやケージ、フード・水や療法食、など

災害時の備え

避難所ではペットの飼育管理は飼い主の責任で行い、飼い主同士等で周りに配慮したルールを作る、など

※AIPOが運営するデータベースに飼い主情報と動物情報を登録することで、識別が可能になります。

ペット手帳

(ペット写真)	フリガナ 名前	オス・メス
	種類	
	誕生日/	年 月 生まれ
不妊・去勢手術	済・未	毛の色
体重		体長
飼い主 氏名		電話
かかり つけ医		電話
持病等		服薬等

(ペット写真)	フリガナ 名前	オス・メス
	種類	
	誕生日/	年 月 生まれ
不妊・去勢手術	済・未	毛の色
体重		体長
飼い主 氏名		電話
かかり つけ医		電話
持病等		服薬等

※ペットが3匹以上の場合は、必要分のコピーを添付してお使いください。

8 「指定避難所」の開設・運営への協力について

名取市では東日本大震災当日、約50か所の避難所(臨時避難所含む)に約1万1千人が避難し、停電で真っ暗な中、余震などで不安な夜を過ごしました。長期の避難生活を余儀なくされた方は、**地域の皆さんの温かい支援などにより、避難所の自主運営を行いました。**

避難所運営には、地域住民や避難者の皆さんの協力が不可欠です。災害に備えて、普段から避難した後の行動や生活をイメージしておきましょう。

避難所が開設されたら、市や施設職員、自主防災組織に協力をお願いします。

指定避難所の安全確認、避難所の開設・避難者の収容

- ・市職員や施設職員が建物の安全確認を行います。
- ・指定避難所では、建物の安全が確認されるまで、なるべく町内会ごとに建物の外で待機し、職員などの指示に従い避難所に入ってください。



初期の避難生活

- ・避難人数の確認、避難者名簿の作成、簡易トイレの設置、市からの食料・物資の配布などについて、協力をお願いします。小・中学校と避難所となる施設などには市の防災倉庫があり、発電機や投光器、簡易トイレなどの備蓄品が配備されています。

長期の避難生活

- ・町内会などの単位で班を編成し、避難所自主運営組織を作り、役割分担を定め、避難生活を行います。
- ・救援物資は、発災直後は届きません。**市の備蓄物資のほか、各自で食料や防寒着、ミルクやオムツ、毛布などを持ち寄ることが重要です。**



避難訓練等への参加

- ・市が例年6月頃に開催する総合防災訓練や、町内会や自主防災組織が行う避難訓練などに進んで参加しましょう。

災害時協力井戸とは

災害時における生活用水確保の多様な手段のひとつとして、災害発生時にご協力頂ける災害時協力井戸を登録しています。

災害により水道が断水したとき、市民の皆様が生活用水(トイレや洗濯等)を確保する方法として、給水車による応急給水だけでなく、個人宅等が所有する井戸を活用する制度です。

登録いただいた井戸は、市内で災害等で断水した際にマナーを守ったうえで、生活用水として使用することができます。



災害時協力井戸を利用する上での注意事項

- ・災害時協力井戸の利用は災害時に断水した場合に限られ、利用時間は原則として午前9時から午後4時までとします。
- ・井戸の利用は、井戸所有者の厚意によるものであることに留意し、その意に反する利用はできません。
- ・のぼり旗が掲げられていない場合は、使用できません。

災害時協力井戸マップ



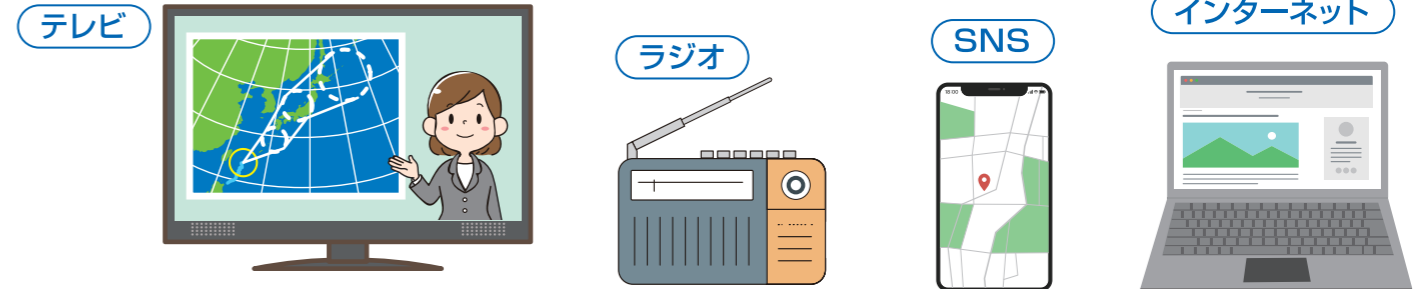
9-1 情報の収集

災害時に以下の手段を用いて防災情報を伝えています。

災害時の情報収集は、被害を軽減したり、避難のタイミングを決定するうえでとても重要です。ここでは、いろいろな情報発信ツールを紹介します。正確な最新情報の取得に努めましょう。

情報の収集に努めましょう

テレビやSNS、インターネットなどから発信される情報に注意しましょう。



テレビ・ラジオ

発災時、情報収集手段のうち最も利用するのはテレビ・ラジオ。特に乾電池でも動作するラジオは停電の中でも最も早く、確実な情報を入手するために有効です。充電器とともに必ず準備するようにしましょう。(予備乾電池の買置きも忘れずに)



「なとらじfm80.1MHz」を活用しましょう。

災害時に防災行政無線が発信する緊急情報を聞くことができます。

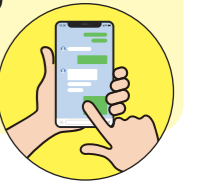


SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

東日本大震災では、様々なSNSによって情報収集が行われました。福島民報では震災の2日後にX(エックス)アカウントを開設し、給水所や避難所、学校の休校情報などの生活情報を配信しました。これによりわずか2日で6,600のフォロワー数*が集まり、地元住民にとっての貴重な情報源となりました。(平成23年度版 情報通信白書 総務省)

*他人のポスト(旧ツイート)を受信するように登録している人、エックスのアカウントをフォローしている人のこと。

SNSとはネット上で社会的なつながりを持つことができるサービスです。SNS(LINE、Facebook、X、など)でのつながりを通じて、最寄りの自治体ともつながっておこう。



インターネット

防災シミュレーター/各自治体防災情報(内閣府)

各都道府県ごとに設けている防災に関するホームページを一覧にし、**それぞれの住まいの周辺に関する防災情報**にアクセスすることができます。

<http://www.bousai.go.jp/simulator/list.html>

【主なコンテンツ】

- 避難所マップ
- ゆれやすさマップ、ハザードマップ
- 注意報、警報 ●災害緊急情報

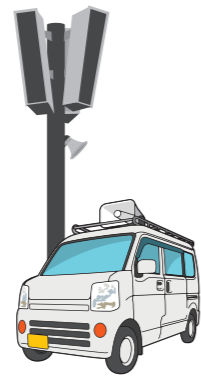


自治体が発信している防災・災害情報

自治体が被災を免れて正常に機能していた場合に限り。また、各自治体により異なる場合がありますので、事前に確認しましょう。

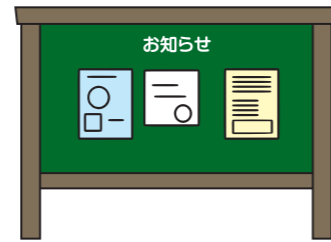
防災行政無線・広報車・緊急告知ラジオ

防災行政無線や広報車は避難指示を出し、警報や注意報を伝達します。また、救援物資の配布場所や給水車が来る場所など生活に密接に関わる情報を伝達します。



役所や避難所に出される掲示板

主に被災地域の安否情報や連絡事項



自治体ホームページの災害情報・防災メール配信サービス 自治体公式X(エックス)・Facebook(フェイスブック)

自治体ホームページでは、刻々と変わる災害情報や防災行政無線の放送内容、警報・注意報を発信しているほか、住まい周辺の避難所や救急指定・災害拠点病院の情報、道路や交通機関の情報などを提供しています。また、自治体公式のメールサービスやX(エックス)などを登録しておけば、ホームページから発信される前述の情報を携帯やパソコンで受信することが可能です。ホームページアドレスはブックマークへ、配信コンテンツは事前に登録しておきましょう。



全国瞬時警報システム(Jアラート)

Jアラートとは

緊急地震速報、大津波警報、弾道ミサイル情報等の緊急情報を、国から人工衛星および地上回線を用いて送信し、市区町村の防災行政無線や携帯メール、コミュニティFM等を自動起動させ、住民まで瞬時に伝達するシステムです。

Jアラートで伝達される情報

- 自然災害に関する情報 ▶ 緊急地震速報など
- 国民保護に関する情報 ▶ 弾道ミサイル情報など

どこから放送が流れるの？

防災行政無線・携帯メール・コミュニティFM・CATV・MCA無線など

※各市区町村により異なります。



放送例

緊急地震速報



「緊急地震速報。大地震です。大地震です。」

大津波警報



「大津波警報。大津波警報。ただちに高台に避難してください。」

弾道ミサイル情報



「ミサイル発射。ミサイル発射。ミサイルが発射された模様です。建物の中または地下に避難してください。」

※メッセージは状況に応じて変更の可能性があります。



名取市からの情報

防災行政無線

市役所と各地区公民館などに設置した、屋外スピーカー(屋外拡声子局)から放送を流します。

防災行政無線テレホンサービス

防災行政無線の放送内容を電話で確認できる「防災行政無線テレホンサービス」。放送内容が聞き取れない時、内容をもう一度確認したい時などに利用できます。



テレホンサービス番号 **022-384-2981**

なとり防災メール

市民の皆さんの安全の確保、不安の解消に役立てていただくよう、緊急時に地震・防災情報などをメール配信しています。受信するためには登録が必要です。



メールで登録する方法▶

名取市ハザードマップ

名取市ハザードマップ



名取市防災マニュアル

名取市防災マニュアル



名取市防災情報 X

名取災害 エックス



▶なお、名取市公式のホームページやフェイスブック、エックス等でも様々な情報を入手できます。

▶名取市以外からも様々な情報が得られます。

みやぎ防災

自然災害避難支援アプリ「みやぎ防災」は、自然災害発生時などに、お住まいの地域での避難に役立つ情報を提供するとともに、避難所の受付等をスムーズに行うことができるアプリです。



みやぎ防災

国土交通省 川の防災情報

(名取川、阿武隈川)

国交省 川の防災



気象庁 仙台管区气象台

仙台管区气象台



気象庁 台風進路情報

気象庁 台風情報



気象庁 地震情報

気象庁 地震情報



モーターサイレン

沿岸部の3か所(日和山中継局、名取市斎場、下増田雨水ポンプ場)に設置したモーターサイレンからサイレンを吹鳴して津波情報をお知らせします。

ナトぼた (名取市公式ポータルアプリ)

あらかじめ登録いただくご自身の年齢・性別といった属性情報や関心のある行政カテゴリに応じて、個別最適化された情報が名取市からプッシュ型で通知されます。専用のアイコンから市の防災情報を確認できます。

ナトぼた



なとらじ801

コミュニティFM放送局「エフエムなとり」(なとらじfm80.1MHz)では、災害時に防災行政無線が発信する緊急情報を聞くことができます。



なとりマップ

名取市の土砂災害警戒区域等箇所や浸水想定区域図(想定最大規模)などのハザードマップを閲覧することができます。

なとりマップ



気象庁 キキクル

大雨・洪水警報の危険度分布を配信しています。

気象庁 キキクル



逃げなきゃコール

アプリを活用して地域を登録すると、災害情報通知を受け取ることができます。大切な人に逃げなきゃコールしましょう。

逃げなきゃコール



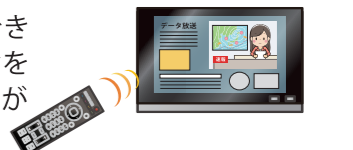
緊急速報メール

NTT ドコモ、au、ソフトバンク、楽天モバイルの携帯電話に送信されます。

※情報は発信時点で市内にいる人に配信されます。また、機種により、設定が必要なものや受信できないものがあります。

テレビ(地上デジタル) dボタン

ご家庭のテレビで確認できます。リモコンのdボタンを押すと、データ放送画面が表示されます。



災害用伝言ダイヤル 171

家族などの安否確認ができます。

使い方は **11**

在宅避難、車中泊避難、熱中症への対応

やむを得ず在宅避難や車中泊避難せざるを得ない方々は、以下のことに注意しましょう。

在宅避難とは

災害時に、自宅が倒壊・焼損・浸水などの危険にさらされておらず、かつ指定避難所での集団生活が困難といったやむを得ない事情がある場合に、自宅で避難生活を送る事です。在宅避難が可能かどうかは、自宅の安全性や周辺環境、備蓄品の有無などで判断しましょう。

在宅避難のポイント

- 自宅の破損が少ない、余震で倒壊のリスクが低い。
- 火災や浸水、土砂災害などの危険がない。
- 数日間生活できるだけの物資が備蓄されている。



車中泊避難とは

災害時に指定避難所ではなく、やむを得ず自分の車の中で避難生活を送る事です。集団生活が難しい場合のプライバシー確保や、ペットとの同伴避難が可能といったメリットがある一方で、健康面や安全面で多くのリスクが伴うため、長期の生活場所として望ましいものではないとされています。

車中泊避難のポイント

- 長時間同じ姿勢で過ごす、エコノミークラス症候群を発症するリスクがあります。弾性ストッキングなどの血栓症対策を備えておくことが有効です。
- 冬季など、暖房のためにエンジンをかけっぱなしにする場合、マフラーが雪でふさがれたりすると排気ガスが車内に入り込み一酸化炭素中毒の危険性があります。



安否確認

安否を確認する手段をあらかじめ決めておこう。

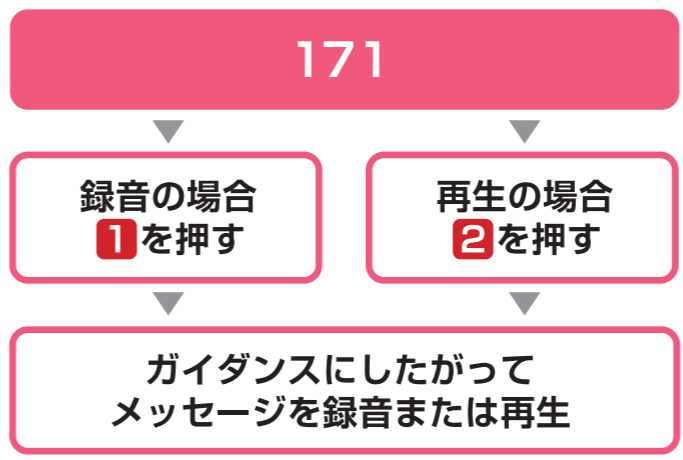


各種災害用伝言サービスの特徴

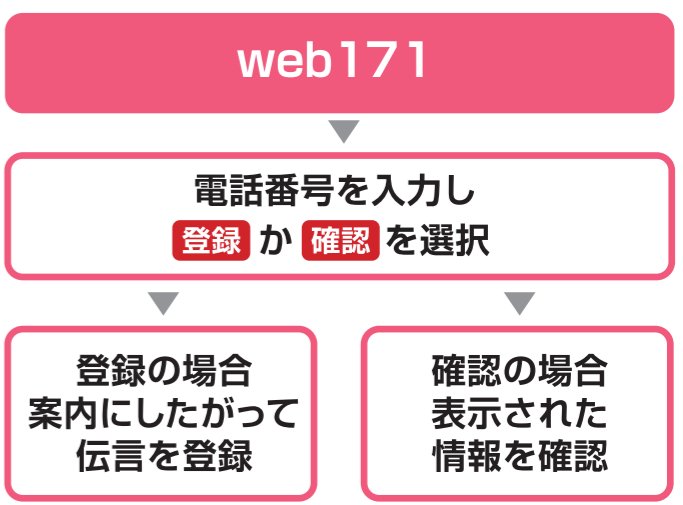
使用機器	電 話	パソコンなど (web接続可能な機器)	携帯電話・スマートフォン
サービス	171	『web171』で検索	各社公式メニューや専用アプリ
登録可番号	すべての電話番号 <small>固定電話は被災地域の市外局番に限る</small>	すべての電話番号 <small>携帯、PHS、IP電話の番号でも登録可能</small>	携帯の電話番号 <small>登録時は自動的に登録され入力不要</small>
保存期間	サービス終了時まで	6ヶ月	サービス終了時まで
登録件数	1~20件 <small>被災規模によって変わります</small>	20件 <small>携帯各社伝言板、171の伝言も一括検索</small>	10件 <small>携帯各社によって変わります</small>
1件あたりの保存可能な時間・文字数	録音時間 30秒/件	登録文字数 100字/件	登録文字数 100字/件

各種災害用伝言サービスは、毎月1日と15日等に体験利用ができます。使い方をあらかじめ確認しておきましょう。
※メールなどによる安否確認も有効な方法です。

災害用伝言ダイヤル(171)の使い方*



災害用伝言板(web171)の使い方



登録内容を確認できます! ▶▶▶ **J-anpi** <https://anpi.jp/>

【災害用伝言ダイヤル(171)の注意】
登録できる電話番号(被災地電話番号)…災害により電話が繋がりにくくなっている地域の電話番号および携帯電話・PHS・IP電話の電話番号。なお、電話番号は市外局番から入力していただく必要があります。

※一部の電話からはご利用できません。他事業者の電話、携帯電話やPHSからの利用については、契約している通信会社にご確認ください。
※NTT東日本・NTT西日本の電話から伝言の録音・再生をする場合の通話料は無料です。他事業者の電話、携帯電話やPHSから発信する場合、通話料については各電話会社にお問い合わせください。くわしくは、URL(NTT東日本) <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

熱中症への対応

基本は以下の3つです。

休息

- ① 体を冷却しやすいように衣服をゆるめ、安静にします。

水分補給

- ③ 意識がはっきりしていれば、水分補給(スポーツドリンク)を行います。意識障害や吐き気がある場合は、医療機関での点滴が必要で、救急車を呼んで至急医療施設へ搬送します。



② 涼しい場所で休ませます。風通しのよい日陰、クーラーの効いた部屋に移動します。また氷嚢(ひょうのう)や氷塊などで腋(わき)の下、首のまわり、足の付け根などを冷やし、血液循環を通じて体温を早く下げます。